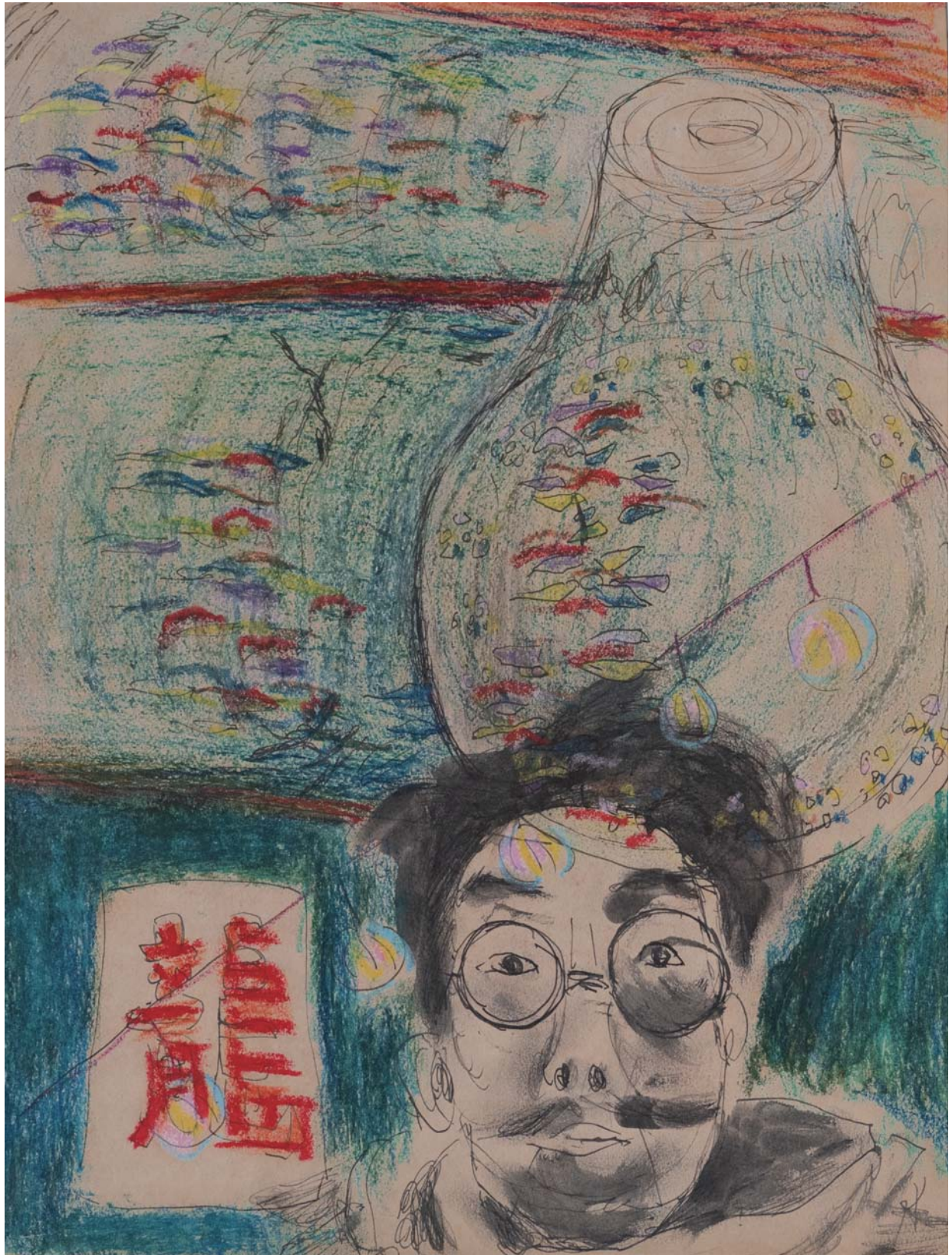


WALKS 歩くこと

2025年度久万美コレクション展



土井虎賀寿《自画像》制作年不明、当館蔵

2025年 12/20(土) ~ 2026年 4/19(日)

開館時間 | 9:30~17:00(入館は16:30まで)

休館日 | 月曜日(ただし、2026年1月12日、2月23日は開館)、2025年12月30日(火)~2026年1月3日(土)、1月13日(火)、2月12日(木)、2月24日(火)

観覧料 | 一般500(400)円、高大生400(320)円、小中生300(240)円

※()内は20名以上の団体料金。

※高齢者(65歳以上)、障害者手帳(身体障害者手帳・精神障害者保健福祉手帳・療育手帳)をお持ちの方とその付添者(1名)は半額。

KMA

Kuma Museum of Art

町立久万美術館

WALKS 歩くこと

歩行とは二つの地点を結ぶほとんど無意識的な移動手段でしかない。しかし思索や儀式や観想と重なることによって、歩くという行為には特殊な領域が形成されている。(…)
つまり、歩行という主題は、わたしたちがありふれた行為に賦与している特殊な意味を考えることともいえる。

ーレベッカ・ソルニット

歩行とは、単なる移動手段に留まらず、思索や観想と結びつくことで特殊な意味を帯びます。しかし多くの人にとって、歩くことは日常生活の何気ない動作として実践され、目的地への移動という側面以外は、特別気に留められていないかもしれません。

それでは、芸術家たちにとって、歩くという行為はどのような意味を持つのでしょうか。

たとえば、面河溪に魅せられた古茂田公雄、山頂を目指した畦地梅太郎、青木ヶ原樹海を行く斎藤和雄など、描く対象を求めて自然の中を歩いた作家たちがいます。一方、都市もまた、芸術家たちのフィールドとなります。長谷川利行は東京を彷徨い、作家が見つめた街の景色を絵に残しました。丹治日良は、松本竣介が描いた街を実際に歩き、作品と実景の検証を試みました。また、坪内晃幸は道路標示の「40」を一定期間撮影し、路上そのものをモチーフとしています。

さらに、歩行には思索や精神活動としての側面も存在します。哲学者・土井虎賀寿は、思索を深めるために近所の山道を散歩したといえます。村山槐多もまた、懊悩する傍らに散歩があったことを日記に書き残しています。

また、同じところをぐるぐるとまわる一巡るという歩き方は、日本人の祈りの行動様式と言われます。四国特有の文化であるお遍路は、祈りの気持ちを歩行に託しているのです。

本展では、当館のコレクションをもとに、芸術家と「歩くこと」の関係性について考えてみたいと思います。

小特集 | 酔を求めて、飲み“歩く”

今年度新たに収蔵した森堯茂《さらわれたかたち》は、2023年に惜しまれながら閉店した「サントリーバー露口」に長く置かれていた作品です。また、同じく今年収蔵した鞍掛徳磨によるリトグラフは、同一の作品が東京のバー「風紋」の壁に飾られていました。

小特集では、「露口」の常連作家の作品や、酒にまつわる作品を紹介します。

関連事業

学芸員トーク

日 時:2026年1月17日(土)、2月14日(土)、3月22日(日)、
4月12日(日) 各14:30~15:00

講 師:当館学芸員

参加費:無料 ※要観覧券、申し込み不要

くまびキッズプログラム

日 時:2026年3月28日(土) 10:00~11:00

講 師:当館学芸員

参加費:無料 ※要申し込み

未就学児とその保護者を対象にした鑑賞会です。

くまびジュニアプログラム

日 時:2026年4月4日(土) 14:00~15:00

講 師:当館学芸員

参加費:無料 ※要申し込み

小学生を対象とした鑑賞会です。



【交通案内】

■JRバス

松山から70分(ほぼ2時間毎、土・日・祝運休あり)。
予讃線松山駅から久万高原行「久万中学校前」下車徒歩約10分。

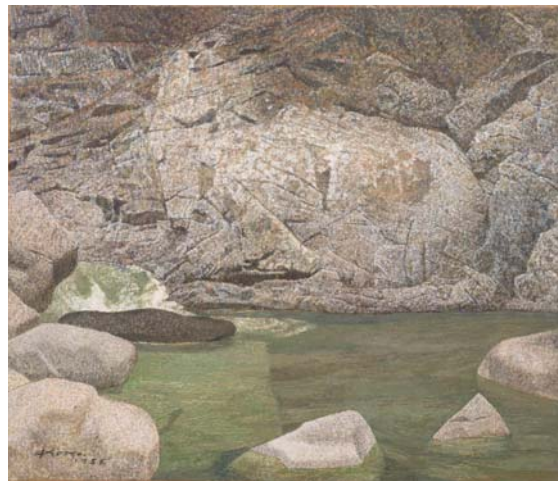
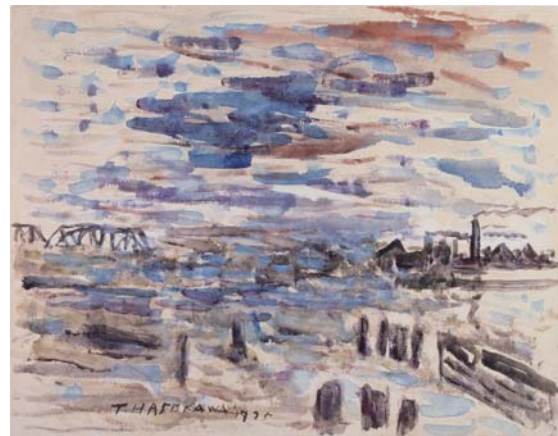
■車

松山市内から国道33号線で約50分、高知市内から約2時間。
松山自動車道松山ICから国道33号線を高知方面へ約30分、
久万中学校前交差点を左折、県道12号線(西条久万線)を0.8km東進、右側。
駐車場45台(無料)

〒791-1205 愛媛県上浮穴郡久万高原町菅生2番耕地1442-7

電話:0892-21-2881 / FAX:0892-21-1954

<https://www.kumakogen.jp/site/muse/>



上から:長谷川利行《荒川風景》1935年頃、当館蔵/古茂田公雄《面河溪》1956年、当館寄託/坪内晃幸《作品》1978年、当館蔵

開館記念無料開放デー

日 時:2026年3月22日(日) 9:30~17:00(入館は16:30まで)

1989年3月23日に開館したことを記念して「無料開放デー」を実施。
当日はどなたも無料でご覧いただけます。

山草園を歩こう! 春の植物観察会

日 時:2026年4月11日(土) 10:00~12:00

講 師:面河山岳博物館学芸員

参加費:無料 ※要申し込み

博物館学芸員による木や草の解説を聞きながら、美術館の敷地内にある庭園「山草園」を散策します。

各イベントの詳細は当館HPでお知らせします。

KMA

Kuma Museum of Art

町立久万美術館